

2019年度

特別号

松 籟



発行者

穴水秀人

卒業に寄せて

3年生の皆さん、卒業おめでとう。一言お祝いの言葉を述べたくて、ペンをとりました。

ここで少し、私の大学時代の話を紹介します。私は、君たちが修学旅行に出向いた奈良県にある教員養成大学への入学を希望し、幸いにも合格しました。合格内定通知書を見ながら、寝食をどうしようか両親と相談し、最終的には大学の学生寮に入ることに決めました。知り合いもいないし、1人でアパート暮らしをするより早く大学生活に慣れるのではないかと考えたからです。3月下旬に見学に行きました。すると、そこは何と1人部屋ではなく相部屋（1部屋4人）だったのです。少し戸惑いましたが、もう断ることもできず入寮することを決心しました。

ところで、「同じ釜の飯を食う」ということわざを聞いたことありますか？苦楽を分かち合った親しい間柄であることのとえですが、同じ釜で炊いたご飯を食べるということは、それだけ同じ時間と場所を共有するということです。私の場合は寮生活ですから、食事のみならず、相部屋という環境の中で膨大な時間と場所を共有したことになります。その結果、お互いに長所や短所を露呈しながらも、「一生涯の友」をつくることができたと思っています。

さて、皆さんは、15年間生きてきた中でたくさんの人に出会い、そして別れも告げてきました。さらには、八田中学校を卒業し新しい世界に身を置く中で、また、たくさんの人と出会うでしょう。是非「一生付き合える友」の存在に気づき、その関係を大切に育んでいくことを願っています。栄えある前途に乾杯！！

友の憂いに 我むせび
我が喜びに 友は舞う
春嵐ここに 暮れゆくも
永久に変わらぬ 真理あり

奈良教育大学 桜寮 寮歌より